

取組による効果

- ・ここ5、6年の残業時間は多い人で20時間、管理職でも30時間以内。
- ・パパ休暇制度利用は制度制定以来、該当者である男性社員は全員が取得しています。直近の3年間で2名が取得しています。
- ・ランチ会を年4回程度、費用は会社負担で2年にわたり実施。それにより、コミュニケーションの促進と部署間の理解が深まり、生産性の向上と、お互い様の意識が醸成されました。残業時間の減少にもつながっています。

従業員の意見

- ・育児休業中も会社の育児情報誌を自宅に送付してもらえたことで会社からのサポートや会社との繋がりを感ずることができました。
- ・パパ休暇制度を妻の出産後の退院の時期に取得し子どもを迎える準備に専念できました。
- ・仕事と育児を両立している先輩が多く、上司の理解もあり環境が整っていることで結婚と出産に前向きになりました。
- ・初めての育休取得中です。育児について学んだり、働き方を見つめ直したりするいい機会になっています。休み中もこまめに会社からのフォローがあるので、安心して過ごせています。



※東京都では、誰もが人生・生活をもっと大切にすべきであると考え、ワークライフバランスの「ワーク」と「ライフ」をあえて逆にして「ライフ・ワーク・バランス」を推進してまいります。ただし、このリーフレットにおいては、認定企業が使用する文言についてはワークライフバランスという文言をそのまま使用しています。



認定部門

仕事と育児の両立推進部門

株式会社赤ちゃんとママ社



株式会社赤ちゃんとママ社

会社概要

会 社 名	株式会社赤ちゃんとママ社
代 表 者 名	代表取締役社長 小山 朝史
創 立 (創 業)	1965年
所 在 地	新宿区本塩町23番地
TEL / FAX	03-5367-6590 / 03-5367-6598
従 業 員 数	30名(うち正社員25人)
U R L	http://www.akamama.co.jp/

 **赤ちゃんとママ社**



事業内容

育児雑誌の刊行

企業、労働組合、健康保険組合などの依頼を受け、定期的に宅配する当社独自の配布システムにより育児情報を各ご家庭にお届け。

子育てと仕事の両立/ダイバーシティ支援事業

育休中、復帰後、女性活躍推進など、働きながら子育てしやすい生活の実現に向けたセミナーの企画・運営、コンテンツ提供、オリジナル媒体の企画・制作。その他ダイバーシティ支援サイトの運営、母性健康管理支援を目的とした妊娠中の社員向け(両親向け)メールサービス。

書籍・マルチメディア商品の企画・制作・刊行

“安心できる楽しい育児”の考え方に基づいた情報をお手元に届きやすい形で発信。
保健指導用パンフレットの企画・制作、その他マーケティング・リサーチ事業、イベント・シンポジウム・セミナー等の企画・運営など広い事業展開。

目的・理念

ワークライフバランスが人を育て、会社をつくる

「ひとりひとりをもっと幸せに」
子どもが幸せになることを第一に考える社会、より多くの人が人生の充実感・幸福感を味わえる社会を目指して情報発信します——以上が経営理念です。
「人を大切にする」、「生活の安定」、「健康の確保」、「働きやすい」、「働きがい」など、会社は「社員の幸せ、充実感とはなにか」を考え続け、社内の横断的プロジェクトと連携し、施策を推進しています。ひとりひとりの幸せは個々に異なります。幸せな気持ちや充実感を高め、生活、人生をよりよいものにしていくことを会社が手伝えることによって、相互理解が深まり、多様性ある職場づくりへとつながり、読者、お客様、協力会社に対しても質の高いサービス、事業へと発展させることにもつながっていきます。そこから先、更に社会が相互に理解ある風土へとつながり、次世代育成支援へとつながることを期待しています。

認定部門 仕事と育児の両立推進部門

取組内容

両立しやすい多様な働き方支援

育児休業は1年～1年半、育児時短勤務と子の看護休暇は子どもが小学校に就学するまで、勤務時間の繰上げ繰下げは子どもが小学校6年生まで取得可能。また子どもの看護休暇は有給休暇とし、取得しやすくなっています。

パパ休暇制度の導入

パパ休暇制度利用は制度制定以来、該当者である男性社員は全員が取得しています。直近の3年間で2名が取得しています。

両立しやすい職場づくり

多様な働き方支援に伴い、会社として出産祝い金や子ども手当などを支給しています。また、福利厚生として年に1回の社員旅行も実施しています。

部署間を横断したプロジェクト

従業員の意見の吸い上げなど、部署を跨いだプロジェクトとしてスタートし、社労士を招いた介護研修を実施したほか、自社商品を寄付するなど地域貢献活動も行ってきました。

